高度加速寿命試験装置
Q：運転中に停電し、復帰した後（復電後）の運転状態を教えてください。
【型式】EHS-212, EHS-212M, EHS-212MD, EHS-222, EHS-222M, EHS-222MD, EHS-412, EHS-412M, EHS-412MD, EHS-211, EHS-211M, EHS-211MD, EHS-221, EHS-221M, EHS-221MD, EHS-411, EHS-411M, EHS-411MD, TPC-212, TPC-222, TPC-412, TPC-422, TPC-210, TPC-410, TPC-211, TPC-411

A：復電後の運転再開（起動）／停止の設定・動作選択は出来ません。停電時間により動作は異なります。

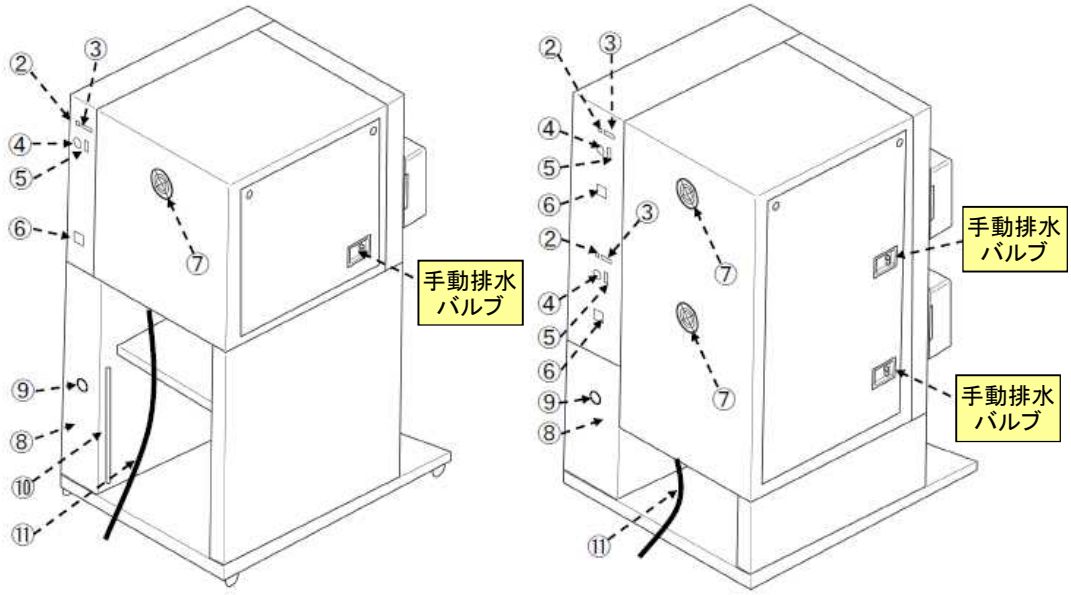
型式	停電復帰後（復電後）の動作	復帰方法
EHS-xx2	停電が3分未満 モニタは「瞬停発生」の警報を表示しアラーム鳴動。 （アラームアイコンを押して警報画面を表示させるまでブザー音は鳴り続ける。） 復電後は停電前の状態を継続。 運転中の場合、停電前の運転を再開。 運転中でプログラム運転の試験工程のステップの場合、停電前の残り時間から再開。 （設定温湿度に復帰するまでタイマは止まっています）	（復電次第、自動復帰）
	停電が3分以上 モニタは「停電発生」の警報を表示しアラーム鳴動 （アラームアイコンを押して警報画面を表示させるまでブザー音は鳴り続ける。） ・全ヒータおよびファン OFF ・排気弁・排水弁・給水ポンプ 停電前の状態のまま	手動排水バルブを開き排水。 （排水が終わればバルブを閉じる） 本体ブレーカOFF／ONをした後、給水タンクに水が満たされていることを確認し、電源を入れて試験を最初からやり直してください。
EHS-xx1 EHS-xx0	停電が3分未満 停電前の状態を継続。 運転中の場合、停電前の運転を再開。 運転中でプログラム運転の試験工程のステップの場合、停電前の残り時間から再開。 （設定温湿度に復帰するまでタイマは止まっています）	（復電次第、自動復帰）
	停電が3分以上 時間表示が点滅し、アラーム鳴動 （アラームは電源切まで鳴り続ける） ・全ヒータおよびファン OFF ・排気弁・排水弁・給水ポンプ 停電前の状態のまま	手動排水バルブを開き排水。 （排水が終わればバルブを閉じる） 電源入／切キーで電源をOFF。 その後、給水タンクに水が満たされていることを確認し、電源を入れて試験を最初からやり直してください。
TPC-xx2	停電が約5分未満 停電前の状態を継続。 運転中の場合、停電前の運転を再開。 運転中で試験工程のステップの場合、停電前の残り時間から再開。 （設定温湿度に復帰するまでタイマは止まっています）	（復電次第、自動復帰）
	停電が約5分以上 時間表示が点滅、アラーム鳴動。 （アラームは電源切まで鳴り続ける） ・全ヒータおよびファン OFF ・排気弁・排水弁・給水ポンプ 停電前の状態のまま	手動排水バルブを開き排水。 （排水が終わればバルブを閉じる） キースイッチで電源をOFF。 圧力容器内の加湿用純水が満たされていることを確認し、電源を入れて試験を最初からやり直してください。

TPC−xx1 TPC−xx0	停電が約5分未満 停電前の状態を継続。 運転中の場合、停電前の運転を再開。 運転中で試験工程のステップの場合、 停電前の残り時間から再開。 （設定温湿度に復帰するまでタイマは 止まっています）	（復電次第、自動復帰）
	停電が約5分以上 POWER FAILUREが点滅。 温湿度表示が測定温湿度表示になる。 ・ヒータ OFF ・排気弁・排水弁・給水ポンプ・扉モータ およびファン 停電前の状態のまま。	手動排水バルブを開き排水。 （排水が終わればバルブを閉じる） キースイッチで電源をOFF。 圧力容器内の加湿用純水が満たされていることを確認し、電源を入れて試験を最初からやり直してください。

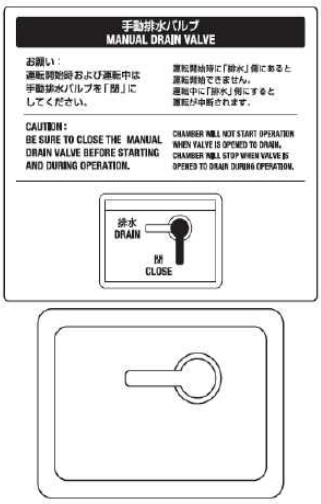
（ご参考　EHS－xx2、EHS－xx1　手動排水バルブ
手動排水の目的：槽内を陰圧状態から大気圧にもどし、電源OFF→ON時に排水が槽内に逆流しないようにするため。）

EHS－xx2

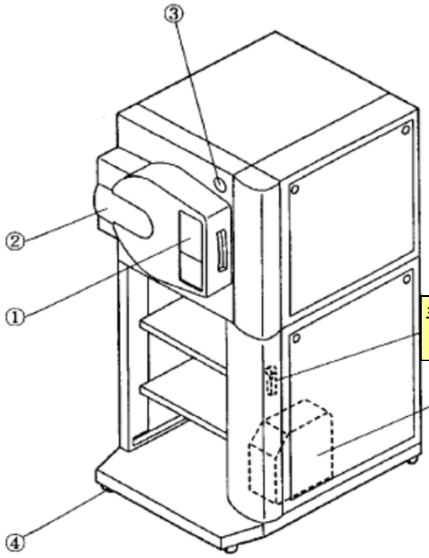
■背面・左側面



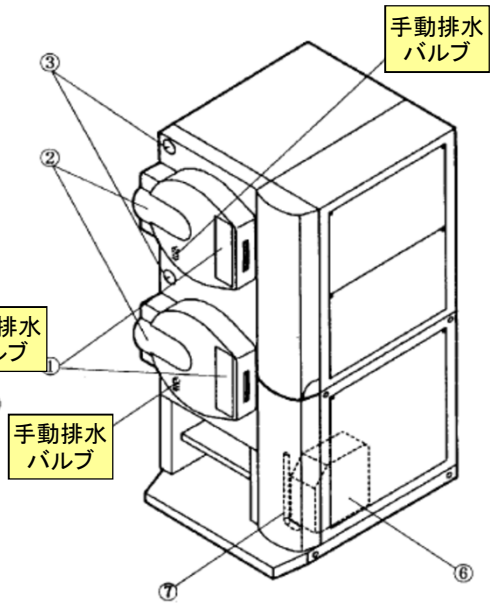
1 段タイプ　　2 段タイプ



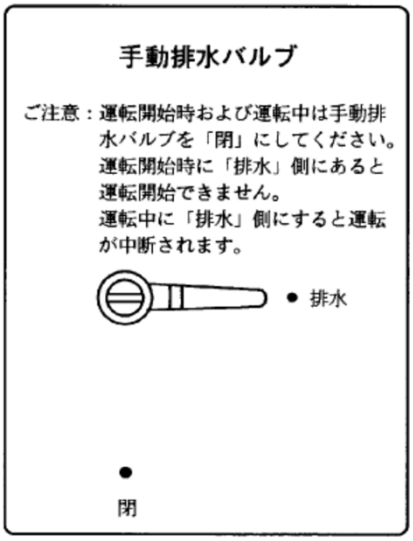
EHS－xx1



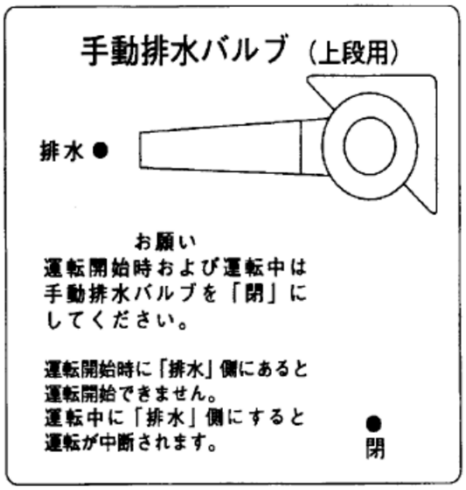
（１段積みタイプ）



（２段積みタイプ）



（１段積みタイプ）



（２段積みタイプ）